トライムボランティア連合だより

Ｖｏｌ．１　［２０２４（令和６）年６月］

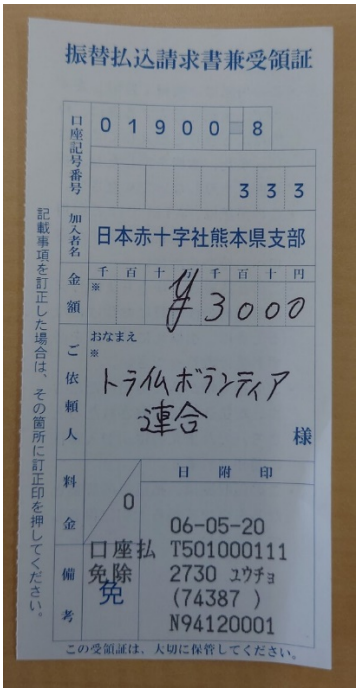
★第１回トライムボランティア連合臨時総会&昼食会　　５月３日

５月３日（金　祝）正午より、福岡県大牟田市の町家カフェ太郎茶屋鎌倉　大牟田店におきまして、第１回トライムボランティア連合臨時総会&昼食会を開催いたしました。

今回の総会では、専決処分の承認や、会の活動内容の表示の変更や、会則の改正などについて審議されました。すべての議案につきまして会員の皆さんの承認が得られました。誠に誠にありがとうございます。

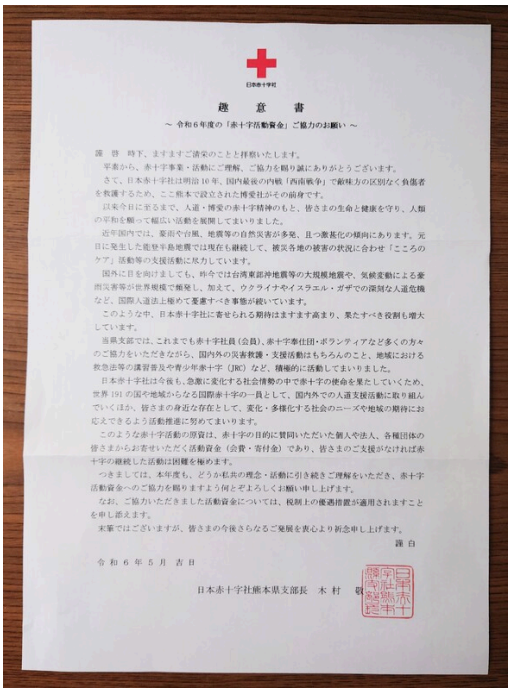
議事終了後は、みんなでお食事に舌鼓を打ちました。

★日本赤十字社　熊本県支部に寄付金をお送りさせていただきました。　　５月２０日



振替払込請求書兼受領証

口座記号番号　0 1 9 0 0 8
3 3 3
加入者名　日本赤十字社熊本県支部
金額　千 百 十 万 千 百 十 円　※ ¥3000
ご依頼人　おなまえ　※ トライムボランティア連合　様
料金　0
備考　口座払 免除 免
日附印　06-05-20
T501000111
2730 ユウチョ
(74387)
N94120001
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
この受領証は、大切に保管してください。



日本赤十字社

趣意書

～ 令和６年度の「赤十字活動資金」ご協力のお願い ～

謹　啓　時下、ますますご清栄のことと存じ上げます。

平素から、赤十字事業・活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、日本赤十字社は明治10年、国内最後の内戦「西南戦争」で敵味方の区別なく負傷者を救護するため、ここ熊本で設立された博愛社がその前身です。

以来今日に至るまで、人道・博愛の赤十字精神のもと、皆さまの生命と健康を守り、人類の平和を願って幅広い活動を展開してまいりました。

近年国内では、豪雨や台風、地震等の自然災害が多発、且つ激甚化の傾向にあります。元日に発生した能登半島地震では現在も継続して、被災各地の被害の状況に合わせ「こころのケア」活動等の支援活動に尽力しています。

国外に目を向けましても、昨今では台湾東部沖地震等の大規模地震や、気候変動による豪雨災害等が世界規模で頻発し、加えて、ウクライナやイスラエル・ガザでの深刻な人道危機など、国際人道法上極めて憂慮すべき事態が続いています。

このような中、日本赤十字社に寄せられる期待はますます高まり、果たすべき役割も増大しています。

当県支部では、これまでも赤十字社員（会員）、赤十字奉仕団・ボランティアなど多くの方々のご協力をいただきながら、国内外の災害救護・支援活動はもちろんのこと、地域における救急法等の講習普及や青少年赤十字（JRC）など、積極的に活動してまいりました。

日本赤十字社は今後も、急激に変化する社会情勢の中で赤十字の使命を果たしていくため、世界191の国や地域からなる国際赤十字の一員として、国内外での人道支援活動に取り組んでいくほか、皆さまの身近な存在として、変化・多様化する社会のニーズや地域の期待にお応えできるよう活動推進に努めてまいります。

このような赤十字活動の原資は、赤十字の目的に賛同いただいた個人や法人、各種団体の皆さまからお寄せいただく活動資金（会費・寄付金）であり、皆さまのご支援がなければ赤十字の継続した活動は困難を極めます。

つきましては、本年度も、どうか私共の理念・活動に引き続きご理解をいただき、赤十字活動資金へのご協力を賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

なお、ご協力いただきました活動資金については、税制上の優遇措置が適用されますことを申し添えます。

末筆ではございますが、皆さまの今後さらなるご発展を衷心より祈念申し上げます。

謹白

令和６年５月　吉日

日本赤十字社熊本県支部長　木村　敬